

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 1 日

事務事業名		学校警察連絡協議会運営助成事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020303000662
						単独/補助	単独	所属課	090601
政策体系		政策体系上の位置付け						生涯学習課	
総合計画の施策名		0203 青少年の健全育成						課長名	
政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	
施策名		03 青少年の健全育成						担当者名	
手段名		03 ③地域教育力の充実						生涯学習G	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	06	05	01	00	青少年対策事業		
法令根拠		学校警察連絡協議会補助金交付要項				単年度繰返し (年度~)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> 桜川市の児童生徒の心身の健全な育成を図るため、学校と警察及び関係諸団体等が緊密な連携を図り、児童生徒の非行防止等に係る研修や活動を行うことを目的としている。 事業内容としては、長期休業 (夏・冬・春休み) 中の子どもたちの過ごし方等の協議、巡視活動、研修会を行っている。 また、児童生徒の登下校時の安全対策として、市内の小中学校通学路沿線の常時在宅する協力者宅に表示板を掲出し、不審者の声かけ等緊急事案等に際し、地域ぐるみで見守るため、「子どもを守る110番の家」を設置している。 	<ul style="list-style-type: none"> 市補助金関係事務 6月・3月 役員会の開催 (6月中旬までに行う) 総会・研修会の開催 (年3回) ※長期休業前 7月・12月・2月 (◎教育長(顧問として)、◎部長(会長として)、次長、課長、担当) 部会の開催 (年3回) ※総会・研修会と同日開催 夏休み中の各種巡視計画作成・通知 子どもを守る110番の家登録関係事務 (御礼文送付、登録名簿の加除等) 不審者情報関係事務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 市補助金支出関係 部会の開催 研修会の企画、開催 子どもを守る110番の家登録関係 不審者情報の提供 	部会開催回数	回	3.00	2.00	3.00	3.00	3.00
	研修会開催数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
市内の児童・生徒	市内・児童生徒数	人	3,041.00	2,953.00	2,870.00	2,790.00	2,750.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
学校・警察及び関係諸団体が連携を取り、相互に協力することによって、児童・生徒の健全育成を図る。	街頭巡視活動数	回	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
	子どもを守る100番の家登録件数	件	1,160.00	1,181.00	1,150.00	1,150.00	1,150.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定総投入量
入量	事業費	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	88	88	88	88
		事業費計 (A)	88	88	88	88
量	正規職員従事人数	人	2.00人	1.00人	1.00人	

01年度事業費 実績 (千円)

02年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)	02年度事業費 予算 (千円)
19 負担金補助及び交付金	88	88
合計	88	88

事務事業名	学校警察連絡協議会運営助成事業	事務事業No.	20303000662	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
桜川市の児童生徒の心身の健全な育成を図るため、学校と警察及び関係諸団体等が緊密な連携を図り、児童生徒の非行防止等に係る研修や活動を行うことを目的に、平成21年7月に設立された。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
「子どもを守る110番の家」制度について、民生委員等、地域の見守りに関係する団体の方々が登録されている家を把握していないとの意見あり。					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力を高めることができるため、結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <ul style="list-style-type: none"> ・地域が一体となり青少年が健全にのびのびと生活できる環境を創造することが必要なため、妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <ul style="list-style-type: none"> ・会員が一番興味のある話題について、研修会を開催している。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で青少年の健全育成が図られなくなるため、影響がある。 	
効率性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <ul style="list-style-type: none"> ・類似事業や統廃合・連携の可能性はない。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <ul style="list-style-type: none"> ・事業を運営する上で、必要最低限の費用である。 	
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <ul style="list-style-type: none"> ・市内児童・生徒を対象としているので、公正・公平である。 	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)																								
(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	年に3回実施している部会において、各会員より毎回活発な意見が出されており、青少年の健全育成に対する意識の高さが伺える。地域課題や部会での意見をもとに、研修会を企画することができている。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 目的の再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 効率性の改善</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善</td> <td><input type="checkbox"/> 公平性の改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 統廃合ができる</td> <td><input type="checkbox"/> 連携ができる</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる																	
<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善																							
<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○											
成果	向上 維持 低下			コスト																				
		削減	維持	増加																				
			○																					
・夏休み中の巡視活動は、学校が計画する巡視活動を確認しながら、時間や人数を調整する必要がある。 ・見守り活動について、「こどもを守る110番の家」だけでなく、「ながら見守り」を推進していくことが必要である。そのために、ベストなども準備が必要になる。補助金について指摘事項を検討し改善を行う。	(6) 事務事業優先度評価結果																							
	成果優先度評価結果 ②																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項					
(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)				
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B <table border="1"> <tr> <td>A: 継続 (現状維持)</td> <td>C: 終了、廃止、休止</td> </tr> <tr> <td>B: 継続 (改革改善を行う)</td> <td>D: 2次評価へ提出</td> </tr> </table>	A: 継続 (現状維持)	C: 終了、廃止、休止	B: 継続 (改革改善を行う)	D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>
A: 継続 (現状維持)	C: 終了、廃止、休止				
B: 継続 (改革改善を行う)	D: 2次評価へ提出				